

授業概要

小学校教員として必要な数学の基礎的・基本的な内容・概念・考え方及び算数教科書の内容の背景にある数学的な考え方・概念を分かりやすく講義する。

授業計画

第 1 回	集合
第 2 回	論理
第 3 回	対応と関係
第 4 回	関数
第 5 回	自然数系
第 6 回	整数と記数法
第 7 回	分数系と有理数系
第 8 回	文字と式
第 9 回	中間のまとめ・テスト
第 10 回	方程式
第 11 回	平面図形
第 12 回	空間図形
第 13 回	記述統計
第 14 回	確率と統計
第 15 回	推定と検定
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①数学の基礎的・基本的な内容である集合、論理、関係、関数、数の体系、確率、統計、推定、検定について、その考え方、概念、意味を説明でき、計算ができる。
- ②単元の構造的・体系的関係を説明できる。

履修上の注意

毎時間の授業内容を復習し、その週のうちに理解を深め定着すること。

予習・復習

学習内容を「学習構造チャート」「関係の理解表」「課題発見表」に記入し、レポートとして提出すること（6回）。

評価方法

レポート6回（30%）、中間テスト・定期試験（60%）、学習姿勢（10%）で評価する。

テキスト

- ・深い学び支える算数教科書の数学的背景、齋藤・秋田・小原（編）、東洋館出版社、令和2年3月
- ・小学校学習指導要領（平成29年告示）、文部科学省、平成29年3月